

令和2年度 社会福祉法人大田市社会福祉協議会 事業報告

1. 事業概要

新型コロナウイルスの感染拡大により、様々な行事、イベントの自粛や中止、学校の休校措置、テレワークの推進、飲食店の時短営業やテイクアウトの推進など、人々のそれまでの日常生活は一変しました。現在では、三密の回避、マスクの着用、手指消毒の徹底など定着した感染予防対策がとられています。人々が集まる機会や人と人がつながる機会は激減し、このことが地域社会の中において、とりわけ生活課題を抱えながら不安な日々を過ごす人々の孤立化につながり、支援が届きにくい状況が生まれました。

本会においても、飛沫防止パネル、消毒液の設置など事務所内の環境整備を進めながら対応をしてきましたが、予定した活動や行事をやむなく中止したり、会議や研修なども書面による開催やリモートでの開催などに切り替わったものが多くありました。

このようなコロナ禍における特別な一年ではありましたが、社会福祉法に規定された本会の使命である「住民参加による地域福祉の推進」の取り組みを止めることのないよう活動を推進しました。令和3年度から新たに取り組む「第3次大田市地域福祉計画・大田市地域福祉活動計画」を策定し、地域共生社会の実現に向けた包括的な総合相談体制の構築など重層的支援体制の整備に取り組むことを明確にしました。

地域福祉支え合い推進事業では、生活課題の解決へ向けた多機関協働による分野を超えたつながりづくりに取り組んだほか、コミュニティソーシャルワーカーを配置し、個別支援と地域をむすび、地域福祉活動の支援強化と増進を図りました。

生活サポートセンターおおだでは、新型コロナウイルスによる生活困窮者への支援策が打ち出されたことにより、生活福祉資金の特例貸付などにより多くの方々の生活相談に対応するとともに、利用者の方々の生活再建に向け伴走型の支援に取り組みました。

権利擁護の推進では、日常生活自立支援事業や大田市成年後見支援センター事業などに取り組むとともに、成年後見制度利用促進計画が策定されたことにより、権利擁護の地域連携ネットワークの構築や中核機関としての役割が明確になりました。

生活支援体制整備事業、地域介護予防活動支援事業では、20地区において高齢者の通いの場づくりに取り組まれているほか、地区社協をはじめとしたサロンなどの地域活動において、誰もが役割を持って社会参加できる環境づくりや住民主体の支えあいの体制づくりによる地域包括ケアシステムの構築を推進しました。

以上、令和2年度事業計画のもと、地区社会福祉協議会・自治会をはじめ民生児童委員協議会、各関係機関・団体のご協力をいただきながら各種事業を実施いたしました。

2. 実施事業

推進目標 1 住民参加による地域福祉活動の推進

(1) 地区社協を中心とした住民主体の地域づくりの推進

◇地区社会福祉協議会連絡会議の開催

<第1回> 新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言発令のため中止とし、各地区へ訪問し事業説明を行った。

<第2回> 感染予防対策として3回に分散して実施した。

・開催日 大田会場①、②（市民センター）：令和2年9月25日（金）
仁摩会場（仁万まちづくりセンター）：令和2年10月2日（金）

・主な内容 第3次大田市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定に向けた意見交換

・延べ参加者 54名

◇地区社協活動支援事業

地区社協が取り組みを行う地域活動が円滑に実施できるよう支援することを目的として活動助成を行った。

・申請地区 27地区社協

・実施内容

(1) 各地区社協と地区担当職員が連携して地域活動に関する研修会を実施。

主な内容：福祉委員活動に関する研修、
コロナ禍における市内地区社協の事業活動の状況、
地域生活課題に関する研修・グループワーク など

延べ参加者：308名（実施地区：24地区）

(2) 地区社協の事業計画に基づいた、異世代交流、友愛訪問活動、サロン活動支援、配食事業、伝統・文化継承などの地域活動に係る事業経費の助成。

◇福祉委員活動の推進

地区社協の研修会等で、福祉委員の活動状況の共有や、福祉委員活動のてびきを活用して福祉委員の必要性、役割などの理解と啓発を図った。

◇CSW設置事業・地域福祉力アップ推進事業（大田市地域福祉支え合い推進事業）

① コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の配置

地域福祉課職員6名をCSWとして位置づけ、個別支援と地域支援の一体的な展開を目指した取り組みを行った。個別支援においては、ふくしよろず相談の対応など、地域住民からの相談を丸ごと受けとめる機能を担い、適切な制度・サービス及び専門機関へのつなぎや関係機関・地域住民等と連携した課題解決・解消に取り組んだ。地域支援においては、地区社会福祉協議会や第2層協議体及び第2層生活支援コーディネーターと連携した小地域福祉活動の推進をはじめ、ボランティア団体等の地域で活動される様々な団体からの相談対応や情報提供などの間接的支援を行った。

② コミュニティソーシャルワーカー（CSW）活動の推進に向けた体制の整備
「他人事を我が事に変えていくような働きかけ」を意識した取組みや既存事業の見直し、各CSWが担当する地区の個別支援及び地域支援の展開におけるワーカー間の情報共有や支援方法の協議・検討、共通認識を図る事を目的として、地域力強化推進ミーティングを開催した。（開催実績：12回）

③ 地域福祉力アップ推進事業

福祉委員と民生児童委員が連携して地域ニーズの把握及び情報の収集・共有を行い、課題の解決に向けた地域活動の活発化を図ることを目的として実施した。

<実施地区> 12地区社協（延べ参加者数：371人）

<プログラム内容>

- (1) 地域課題についての意見や情報交換
- (2) 福祉マップづくり
- (3) 福祉委員の活動についての研修や活動状況の共有
- (4) 他地区の取組み状況について情報交換 など

(2) 住民自主組織の活動支援

◇ふれあい・いきいきサロンづくり活動推進事業

<指定サロン> 1サロン（朝山町：峠のサロン市場）

<令和2年度末現在のサロン総数> 112サロン

◇地域介護予防活動支援事業

<介護予防活動実施団体> 148団体

No.	地区	団体数	申請団体	No.	地区	団体数	申請団体
1	大田	8	大田町社協	14	大屋	2	地区社協
		2	まちづくり推進協議会	15	久利	8	まちセン運営委員会
2	川合	9	ふるさとづくり21推進協議会	16	大森	6	まちセン運営委員会
3	池田	4	地区社協	17	水上	8	地区社協
4	志学	3	地区社協	18	祖式	1	地区社協
5	北三瓶	7	地区社協	19	大代	3	地区社協
6	富山	3	地区社協	20	温泉津	3	まちセン運営委員会
7	朝山	2	地区社協	21	福波	5	地区社協
8	波根	3	地区社協	22	湯里	6	まちセン運営委員会
		2	まちセン運営委員会	23	井田	4	まちセン運営委員会
9	久手	7	まちセン運営委員会	24	仁万	3	地区社協
10	長久	15	まちセン運営委員会			1	まちセン運営委員会
11	鳥井	8	まちセン運営委員会	25	宅野	3	まちセン運営委員会
12	静間	2	地区社協	26	大国	7	地区社協
		4	まちセン運営委員会	27	馬路	3	地区社協
13	五十猛	6	地区社協	合計		148	

(1) 大田市介護予防活動市民大会サロン大交流会

※新型コロナウイルス感染予防のため中止

(2)ふれあいいきいきサロン・介護予防活動実施団体交流会

※新型コロナウイルス感染予防のため中止

(3)元気づくりプログラム研修事業

サロン活動のプログラムづくりを支援することを目的として、地域のサロン団体等のスタッフを対象として市内5会場で研修会を開催した。

・開催日及び会場

大田会場／大田市民センター 9月15日(火)

久手会場／久手まちづくりセンター 9月29日(火)

鳥井会場／鳥井まちづくりセンター 10月13日(火)

仁摩会場／仁万まちづくりセンター 10月27日(火)

大田会場／大田市民センター 11月10日(火)

・主な内容 「ちょいトレのすすめ」～おうちでカラダを動かすコツ～
講師：山崎朋子氏(健康運動実践指導者)

・延べ参加者 91名

(4)活動団体への訪問指導

・訪問回数 延べ78回

◇生活支援体制整備事業

地域での高齢者の生活支援に関する協議・支援を行う協議体の設置・運営、事業の実施について支援を行った。年度内の新たな協議体設置は無かったが、未設置地区のうち3地区において実施へ向けた協議・検討を進めている。

① 市内各地区協議体への支援と連携

新たな協議体設置については地域組織と連携して研修、協議等を開催し、設置へ向けた支援を行った。また、協議体設立後の組織運営や事業の実施については地区担当コミュニティソーシャルワーカー(CSW)が第2層生活支援コーディネーターと連携し相談の対応や情報提供など支援を行った。

<協議体の設置状況> ※令和3年3月31日現在

	地区名	協議会の名称	協議会の設置	コーディネーター数
1	川合	川合地域ささえあい協議会	平成28年10月	1名
2	波根	波根地域ふれあい協議会	平成28年8月	2名
3	湯里	ゆさと元気会	平成28年10月	2名
4	久利	久利まちづくり推進協議会	平成28年10月	1名
5	井田	井田なごみ園	平成28年12月	5名
6	福波	福波ささえあい協議会	平成29年3月	2名
7	大国	元気おおぐに推進協議会	平成29年4月	2名
8	池田	池田すこやかクラブ協議会	平成29年6月	2名
9	長久	長久地域ふれあい協議会	平成29年8月	1名
10	温泉津	温泉津ふれあい協議会	平成29年12月	2名

11	久手	久手町ささえあい協議会	平成30年1月	2名
12	宅野	宅野生活支援協議会	平成30年2月	2名
13	大屋	大屋介護予防協議会	平成30年10月	3名
14	志学	志学まちづくり推進協議会	平成30年11月	3名
15	仁万・天河内	仁万・天河内ふれあい協議会	平成30年12月	3名
16	五十猛	五十猛いきいき協議会	平成30年12月	2名
17	大代	大代えびすの会	平成31年3月	1名
18	大森	大森たすけあい協議会	平成31年4月	2名
19	馬路	てごしようかい馬路	令和元年10月	2名
20	富山	富山地区社会福祉協議会	令和2年1月	2名

<訪問地区数> 24地区

<延べ訪問回数> 762回

・訪問の内訳

(1)会議・研修等への参加 53回

(2)相談・打合せ等の訪問 709回

<生活支援コーディネーター情報交換会等の開催>

協議体に配置された第2層生活支援コーディネーター相互の情報交換と関係機関との連携を目的とした情報交換会を感染予防対策として2会場に分散して開催した。

・開催日 月末の金曜日に開催（4月は新型コロナウイルス感染予防のため中止）

・主な内容 市及び市社協からの連絡事項、実施事業の課題等の意見交換、情報の共有、レク講座など

<地区協議体・生活支援コーディネーター研修>

円滑な協議体運営及び事業実施に必要な研修会を開催した。

(1)熱中症対策ミニ研修

開催日 令和2年6月26日（金）

(2)労務管理セミナー

開催日 令和2年7月6日（月）

(3)年末調整事務説明会

開催日 令和2年11月27日（金）

<スタッフ研修会の開催>

コロナ禍における事業の推進について共通の理解を図るため、事業スタッフを対象とした研修会を開催した。

(1)第1回スタッフ研修会

・開催日 令和2年9月14日（月） 参加者61名

・内容 「通いの場における新型コロナウイルス感染症対策」

講師：大田市立病院感染対策室

感染管理認定看護師 牧野 貴之 氏

(2) 第2回スタッフ研修会

- ・開催日 令和3年2月22日(月) 参加者116名
- ・内容 「コロナ禍だけどコロナ禍だからこそつながりを」
講師：ご近所福祉クリエイション 主宰 酒井保氏
(リモートでの実施)

<移動・外出支援に関する地域活動助成事業>

地域における移動・外出支援に関する地域ニーズの把握及び課題解決へ向けて取組む地区社協に対し、地区担当職員が連携して取組むことと併せて事業実施に係る経費の助成を行った。

(1) 実践地区 2地区社協(志学、北三瓶)

(2) 実施内容

- ① 課題の調査・把握のためのアンケート調査とその分析
- ② 課題解決へ向けた協議・検討
- ③ 移動・外出支援に関する新たなしくみづくりへ向けた試行と検証

◇子育て支援団体連絡会への支援

新型コロナウイルス感染予防のため、市内の子育てサロン・サークルに所属する親子同士の交流を目的とした「子育てサロン交流会」は中止としたが、継続して活動を実施されているサロンへ訪問を行った。

・訪問回数：8回

◇レクリエーション用具等貸出し事業

- ① 福祉体験学習用品(疑似体験等)貸出し/2件(学校、地域自主防災会)
- ② 軽スポーツ・レクリエーション用具貸出し/254件
- ③ 機材等の貸出し/88件

(3) 住民相互の助け合い意識の啓発とつながりづくり

◇高齢者の見守り活動に関する協定に基づく連携

「高齢者の見守り活動に関する協定」に基づき、高齢者一人世帯の見守りを新聞販売店、民生児童委員などの関係団体と連携し行った。

<対応件数> 1件

◇地域福祉研修会の開催

コロナ禍で地域行事や住民が集う機会が減少傾向にある状況下において、地域活動をすすめていくうえで大切にしたい視点や、支え合いの必要性について改めて考えるきっかけとして研修会を開催した。

- ・開催日 令和3年2月22日(月) 参加者146名
- ・内容 「コロナ禍だけどコロナ禍だからこそ、つながりを」
講師：ご近所福祉クリエイション 主宰 酒井保氏
(リモートでの実施)

(4) 地域福祉活動への住民及び施設・団体等の参加促進

◇障がい者社会参加促進事業

<障がい者スポーツ振興事業>

障がい者スポーツ大会は、新型コロナウイルス感染予防のため開催を中止した。

<生活訓練事業>

(1) 視覚障がい者の集い

新型コロナウイルス感染予防のため開催を中止した。

(2) バスハイキング事業

新型コロナウイルス感染予防のため開催を中止した。

(3) 障がい者との体験ツアー

新型コロナウイルス感染予防のため開催を中止した。

(4) 福祉講演会

身体障がい者福祉協会へ依頼して実施した。

- ・開催日 令和3年3月7日(日) 参加者45名
- ・内容 講演会、アトラクション

◇障がい者週間啓発事業

人権週間・障がい者週間啓発事業として例年開催している「ふれあいフェスティバルおおだ」は、新型コロナウイルス感染予防のため開催を中止し、構成団体の事業活動紹介をケーブルテレビで放送するための動画を作成した。

◇健康・生きがいがづくりフェスティバルの開催支援

大田市内でのスポーツ大会等(グラウンドゴルフ、ゲートボール、ダイヤゾン・ボール、サイクリング、ターゲットバードゴルフ、将棋)の健康・生きがいがづくりを目的として開催される大会について助成及び支援を行った。

- ・実施団体：5団体(大会参加者：209名)

◇社会福祉法人地域公益活動の推進

「大田市社会福祉法人連絡会」設立総会を開催し、設立の趣旨説明、会則(案)、役員を選出、令和3年度事業計画・予算書(案)について協議後、可決された。

- ・開催日 令和3年2月18日(木)
- ・会場 大田市民センター4階 集会室
- ・構成員 17法人・事業所

◇老人福祉センター管理運営事業

<大田老人福祉センター>

- ・利用団体総数 631団体
- ・利用者総数 11,433人

◇団体等事務局の受託

- ・大田市民生児童委員協議会
- ・日本赤十字社島根県支部大田市地区
- ・大田市共同募金委員会

(5) 共同募金運動への協力

募金運動に協力し、集まった募金を各地区社協、福祉事業実施団体、当事者組織等へ事業助成を行った。(助成一覧：別紙1参照)

◇助成金配分実績額 5,595,780円

推進目標2 在宅生活の自立を支える活動の推進

(1) 関係機関との連携による相談体制の充実

◇ふくしよろず相談窓口の設置

「分野を問わず丸ごと受けとめる場（窓口）」として社協本所内に開設し、生活する中で起こる様々な暮らしの困りごと・悩みごとについて、“まず受けとめる”機能の充実を図った。生活に関する様々な困りごとへのご相談を窓口や訪問（アウトリーチ）、ふくしよろず相談窓口専用回線により受け付けた。

また、今年度は新型コロナウイルスの影響により収入が減少した世帯への生活福祉資金特例貸付に関する相談及び問い合わせが多くあり、生活サポートセンターおおだとの連携を図りながら対応した。

<開設日>

月曜～金曜 9:00～17:00（祝日および年末年始を除く）

<新規相談受付件数>

420件（令和2年4月1日～令和3年3月31日まで）

<受け付けた相談の処理状況>

- ・課題解決／80件（情報提供のみによる終了も含む）
- ・関係機関・制度につないだ／250件
- ・中断等／1件
- ・継続対応中／89件

◇司法書士相談及び石見法律相談センター相談会（パソコン法律相談）

<実施状況>（会場：本所）

相談種別	開催日	回数	相談者数
司法書士相談	毎月第2火曜日	12	22
パソコン法律相談	金曜日	9	23

<相談内容>（重複あり）

区分	離婚	土地家屋	債務債権	相続	事件事故	苦情	住宅	資金	計
司法書士相談	0	13	3	10	0	0	1	1	28
パソコン法律相談	7	3	5	2	3	3	0	0	23
計	7	16	8	12	3	3	1	1	51

◇関西大学法科大学院出張法律相談：新型コロナウイルス感染予防のため中止

◇外国語通訳（インターネット電話）しまね国際センターとの連携

しまね国際センターと連携した外国語通訳：実績なし

ポケトークを利用し外国語通訳を実施

（外国籍：ブラジル、フィリピン、ベトナム）

(2) 包括的支援の充実

◇生活困窮者に対する支援（生活サポートセンターおおだの取組み）

＜自立相談支援事業＞

経済的困窮や社会的孤立などの様々な課題を抱える地域住民からの相談に応じ、関係者・関係機関等との連携を図り、社会的経済的な自立に向け本人の意向を踏まえながら、本人の状況に合わせて包括的・経済的支援を行った。

(1) 新規相談者数 101名（男性：68名、女性：33名）

年代	人数	年代	人数
10代	0	50代	21
20代	8	60代	25
30代	14	70代以上	11
40代	21	不明	1

(2) 新規相談内容延件数 284件

相談内容	件数	相談内容	件数
病気・健康・障がい	31	地域との関係	2
住まい	20	家族との関係	10
収入・生活費	90	子育てのこと	6
家賃・ローン	18	介護のこと	9
税金・公共料金支払	25	引きこもり・不登校	3
債務	19	DV・虐待	0
仕事探し・就職	31	食べるものがない	10
仕事上の不安・トラブル	8	その他	2

(3) 緊急一時的支援の実施状況 178件

支援内容	件数	備考
食糧支援	157	
緊急現金(民生融金)	20	生活費1万円貸付
一時的住居確保	1	市営住宅を借り上げる

(4) 初期対応状況（初回スクリーニング実施時の状況）

・自立支援計画（プラン）策定前支援終了件数 23件

区分	件数	内訳
情報提供のみで終了	1	
他制度・他機関等へのつなぎで終了	14	生保9件、資金貸付2件、ジョブ・亀の子2件、日常生活自立支援事業1件
スクリーニング判断前に中断・終了	8	転居6件、死去2件

(5) 自立支援計画（プラン）策定及び評価状況

支援調整会議を毎月1回開催し、支援方針を確認し決定。

・支援決定、確認件数 36件

初回プラン	再プラン	合計
22	14	36

・プランの評価実施件数 22件

終 結	再プランして継続	中 断	合 計
6	14	2	22

・評価結果

変化あり	変化なし	合 計
19	3	22

・支援によりみられた変化

生活面の変化

区分	見られた変化	終 結	再プラン	中 断	合 計
生活面	生活保護適用	1	0	0	1
	住まいの確保・安定	1	2	1	4
	医療機関受診開始	1	2	1	4
	健康状態の改善	0	0	0	0
	障害手帳取得	1	1	0	2
	自立意欲の向上・改善	1	0	0	1
	対人関係・家族関係の改善	2	0	0	2
	生活習慣の改善	0	1	0	1
	孤立の解消	0	0	0	0
	精神の安定	1	0	0	1
	債務の整理	0	1	0	1
	家計の改善	1	2	0	3
	保険関係収入の増加	0	0	0	0
	年金関係収入の増加	1	0	0	1
	その他収入増加	2	2	0	4
就労収入増加	0	1	0	1	

社会面等の変化

区分	見られた変化	終 結	再プラン	中 断	合 計
社会面	職場定着	0	0	0	0
	一般就労開始(継続的就労)	0	0	0	0
	一般就労開始(時限的)	0	3	0	3
	雇用契約を伴う支援付き就労	1	1	0	2
	障害者サービス活用	0	1	0	1
	自営業等雇用外就労開始	0	0	0	0
	就職活動開始	0	0	0	0
	職業訓練の開始、就学	1	0	0	1
	社会参加機会の増加	0	1	0	1
他(1)	その他	2	3	0	5
他(2)	この間に変化は見られなかった	0	3	0	3

(6) 支援状況

- ・ 支援延件数 1,861件

内 訳	件数
電話相談・連絡	464
訪問	157
同行支援	42
面談	504
所内会議	8
支援会議	2
支援調整会議(プラン策定)	36
支援調整会議(評価実施)	22
その他 他機関との会議(支援調整会議以外)	23
他機関との電話照会・協議	557
その他	46

- ・ 資金貸付 (生活福祉資金、民生融金)
- ・ 家計改善支援、就労準備支援の利用
- ・ 住居確保給付金の利用 (5件)
- ・ 生活保護受給者等就労自立促進事業の利用における職安と連携 (支援対象者5件に対し、2件支援要請)
- ・ 生活物品の貸出

(7) 研修及び会議

- ・ 職員の資質向上のため外部研修に参加
- ・ 関係機関との連携に関わる会議に参加

<家計改善支援事業>

家計の課題を抱える生活困窮者に対して、家計の状況を明らかにして自ら家計を管理できるように支援を行った。

- ・ 利用件数 11件
- ・ 主な支援内容

家計管理、滞納の解消や各種制度等の利用、債務整理、貸付あっせん等に関わる支援

- ・ 相談従事者の資質向上のための「家計改善支援スキルアップ研修」の開催

開催日 令和2年9月8日(火) 参加者18名

会場 大田市民センター

主な内容 講義「家計の見直しポイント」

講師：横原 治氏 (日本ファイナンシャル・プランナーズ協会AFP)

<就労準備支援事業>

就労に向けた準備が整っていない生活困窮者に対して、一般就労に向けた準備としての生活習慣の改善やコミュニケーション能力の向上、基礎能力の形

成が図れるよう支援を行った。

- ・利用件数 1件（社会とのつながり応援事業の活用、職場見学）
- ・定期的な訪問（8050問題を抱える世帯等に訪問し信頼関係の構築）
- ・職場体験、職場見学協力事業所の開拓

◇資金貸付事業

生活課題の改善・解決に向け、必要な資金を融資し世帯の自立支援を行った。

(1)生活福祉資金貸付（実施主体：県社協）

- ・対 象 高齢者、障がい者、低所得者世帯
- ・業 務 資金相談（借入相談、申請支援、生活相談、償還指導等）
- ・貸付相談支援延件数 1,193件
- ・貸付決定数 265件

（うち、新型コロナウイルス特例貸付件数：252件）

- ・貸付金額 71,766,000円

（うち、新型コロナウイルス特例貸付金額65,338,000円）

資金種類	件数	金額(円)	備 考
総合支援資金	0	0	
特例総合支援資金	64	30,038,000	※新型コロナウイルス特例貸付 初回貸付:41件 延長貸付:14件 再貸付:9件
福祉資金(福祉費)	3	458,000	一時経費:3件 内訳 転居費用:2件、空調費用:1件
緊急小口資金	3	225,000	保護費受給、給与までの生活費
特例緊急小口資金	188	35,300,000	※新型コロナウイルス特例貸付
教育支援資金	7	5,745,000	大学:3件、高校:4件 ※母子父子寡婦福祉資金併用:3件、 育英会併用:1件、 学生支援機構併用:3件
不動産担保型生活資金	0	0	
合 計	265	71,766,000	

(2)民生融金貸付（生活資金・緊急現金）

- ・対 象 生活困窮状態
- ・業 務 資金相談（借入相談、生活相談、償還指導等）
- ・貸付実績 20件 200,000円
- ・用途別の件数と貸付金額

種 別	使 途	件数	金額(円)	備 考
緊急現金(1万円以内)	生活費	20	200,000	
合 計		20	200,000	

- ・償還状況

償還件数・金額／51件 373,000円

償還完了件数 / 21件

・不能欠損処分 8件 145,000円

◇フードバンク事業（寄付食料品備蓄による困窮者への食料支援）

- ・主な寄付食料品 米、カップ麺、レトルト食品、缶詰等
- ・食料寄付件数 56件（団体13件、個人43件）
- ・食料支援件数 192件（生保世帯等含む）

◇生活物品の貸出

生活困窮者の自立へ向けて生活用品の貸出を行った。

- ・貸出し利用者数 1名（貸出物：冷蔵庫、洗濯機、炊飯器）

◇総合的な相談支援体制づくり事業（大田市地域福祉支え合い推進事業）

①事業推進プロジェクト会議の開催

市と連携・協働し、本事業を進めていくため、事業推進の方針決定や、組織体制の整備、計画的な事業実施、事業の進捗管理等を行うことを目的として開催した。

<構成員> 市地域福祉課3名
社会福祉協議会8名

<開催実績> 13回（原則毎月1回開催、3月は2回開催）

②大田市地域福祉推進支援機関代表者会議への参画

様々な支援機関が相互に連携を図り、当該事業を効率的かつ効果的に推進することを目的として大田市が設置・開催する「大田市地域福祉推進支援機関代表者会議」への参画について、令和2年度は新型コロナウイルス感染予防のため中止とされた。

③大田市地域福祉推進支援機関実務者会議の開催

様々な支援機関の現場業務に従事する実務者が相互に連携を図り、包括的な支援体制を整えることを目的として設置する「大田市地域福祉推進支援機関実務者会議」を開催し、複合的課題を抱える事例や困難事例への対応方法の検討及び各支援機関の役割・機能などについて相互理解の促進を図った。

<開催実績> 11回（毎月1回開催※5月は中止）

事例検討（経過共有含む）：15件

研修会：1回

意見交換：2回

<構成員>

相談支援機関名
大田市福祉事務所
大田市健康増進課
大田市地域包括支援センター
障がい者地域生活支援センターせいふう
亀の子サポートセンター
大田市立病院地域医療連携室
石東病院医療福祉相談室
ほっとスペース・ゆきみーる
大田市社会福祉協議会

(生活サポートセンターおおだ、大田市成年後見支援センター)
その他ケースに応じて相談支援包括化推進員が事例提供者との協議の下決定した機関(者)

④相談支援包括化推進員の配置

多分野にわたる相談支援機関が協働し、包括的な支援体制を構築していくため、総合的なコーディネートを担う「相談支援包括化推進員」を本会と大田市福祉事務所に各1名ずつ配置した。相談支援包括化推進員は、各相談支援事業者やCSWから多機関協働が必要と思われる支援困難ケースについて相談を受け、実務者会議を招集し、複合的な地域生活課題を抱える困難事例の対応検討を行った。

⑤関係機関向け研修会の開催

総合的な相談支援体制の構築に向け、関係機関との共通理解を図ることを目的とした研修会を開催した。令和3年度より大田市においても実施予定となっている「重層的支援体制整備事業」について、講師より事業の目的や事例紹介をいただき、関係者間の共通理解を図った。

日時：令和3年3月9日(火)

会場：大田市民センター4階軽運動室

内容：「重層的支援体制整備事業と総合相談支援体制の構築について」

講師：島根大学人間科学部 加川充浩准教授

参加者：11機関35名

(3) 個別課題に基づく地域づくり

◇こころのたより発送事業

大田市民生児童委員協議会との共催で、市内在住の75歳以上の一人暮らしの高齢者及び夫婦ともに80歳以上の高齢者夫婦世帯に対し、声かけ・見守り等の安否確認を行なうことを目的として、新型コロナウイルス見舞いとしてハガキを届けた。

<対象者> 1,869名

◇重度身体障がい者移動支援事業

ボランティア(運転者・補助員)によるリフト付自動車での外出支援を行った。

<利用登録者数> 152名(休止中の方も含む) ※内新規利用登録者10名

<実利用者数> 15名

<年間延べ利用者数> 79名

<年間稼働日数> 73日(運行用務：受診・リハビリ、買物など)

<ボランティア登録者> 38名(運転者・補助員：明星の会)

<ボランティア延べ活動者数> 148名

◇学生服等再活用事業

不用となった学生服等を寄付していただき、制服等準備することが難しい家庭に提供し、子育て家庭の負担軽減、資源の有効・循環利用を推進した。

・対象物 市内の小・中学校及び近隣高校の制服、体操服、柔道着

- ・寄付者数 5名から24品
- ・提供世帯数 3世帯

(4) 当事者団体などへの支援

◇大田市身体障がい者福祉協会事務局受託

本会に事務局を設置し、活動の推進を図った。

◇大田市障がい者関係団体連絡協議会事務局受託

本会に事務局を設置し、大田市内の障がい者施設と連携を図り、各種事業を推進した。

◇大田市シニアクラブ連合会活動支援

大田市シニアクラブ連合会が実施する各種事業へ協力し、円滑な事業運営を支援した。

◇家族相談員紹介事業

障がいのある方が地域で生活していくうえでの不安や悩みなどを当事者家族相談員が受けとめる相談会を大田地域家族会親和会へ依頼し実施した。

- ・相談日 毎月第1・第3木曜日
- ・会場 亀の子地域活動支援センター
- ・相談件数 99件

◇福祉バス運行事業

社会福祉活動を推進するため福祉団体が行う事業に関して福祉バスを運行することで、参加者移送の利便を図った。新型コロナウイルス感染予防のため、乗車人数に制限を設けるなどの対応を行った。

- <登録団体数> 40団体
- <利用団体数> 14団体
- <運行回数> 44回

(5) 福祉事務所をはじめとする関係機関・団体との連携に向けた会議等への参画

(大田市)

- ◇大田市障がい者自立支援協議会
- ◇大田市保健対策推進協議会
- ◇大田市人権尊重のまちづくり審議会
- ◇大田市生涯現役・いぶし銀が支えるまちづくり推進協議会
- ◇大田市要保護児童対策地域協議会
- ◇大田地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会
- ◇大田市公共交通対策協議会
- ◇青少年の居場所 ゆきみーる運営等検討会
- ◇大田市地域福祉推進支援機関代表者会議 (中止)
- ◇大田市子ども・子育て支援推進会議

(大田圏域)

- ◇障害者就業・生活支援センター事業連絡会議
- ◇大田圏域女性に対する暴力対策関係機関連絡会
- ◇大田圏域精神保健医療福祉連絡協議会
- ◇大田圏域自死総合対策連絡会
- ◇大田圏域健康長寿しまね推進会議
- ◇大田・邑智地域生活支援会議

推進目標3 ボランティア活動の推進

(1) ボランティア人材の養成とスキルアップ

◇ボランティア交流事業

- ・第6回縁カフェおおだ

実施日 令和2年12月6日(日) 参加者：5名

会場 大田市民センター2階 多目的室

◇奉仕員養成事業

①手話奉仕員養成講座

新型コロナウイルス感染予防のため中止とした。

②点訳奉仕員養成講座(全12回)

実施日 令和2年9月12日(土)～令和3年2月27日(土)

会場 大田市民会館及び市民センター

受講者 3名

③広報音訳ボランティア養成講座(全5回) 受講者：7名

実施日 令和2年10月17日(土)～令和2年12月5日(土)

会場 大田市民センター3階 研修室

◇地域福祉活動サポーター養成事業

①聞こえのサポート講座

開催日 第1回：令和3年2月27日(土) 受講者4名

第2回：令和3年3月6日(土) 受講者3名

会場 大田市民会館 第1会議室

②移動介助ボランティア養成講座 受講者：5名

開催日 令和3年3月8日(月)

会場 大田市民会館 中ホール

◇ボランティア・市民活動センターの運営

ボランティア養成講座等の受講者へ情報提供と活動支援を行った。

- ・個人、団体及び施設行事へのボランティア依頼／1件(延活動者数：7名)
- ・食育活動ボランティア依頼／36件

(2) ボランティア活動に関する相談・支援体制の強化

◇緩和ケア啓発事業への助成・支援

新型コロナウイルス感染予防のため、すべての活動が中止された。

◇ボランティア保険に関する手続き事務

①ボランティア活動保険（事故対応2件）

加入者数：1,511名

〈基本プラン〉 1,448名 〈天災プラン〉 63名

②送迎保険（事故対応0件）

加入件数：27件

③ボランティア行事用保険（事故対応3件）

加入件数：211件（1,266事業分）

④福祉サービス総合保障（事故対応1件）

加入件数：25件

◇収集ボランティア活動の推進

暮らしの中で簡単・手軽に取り組める収集ボランティア活動の推進を図った。

- ・使用済み切手の収集／18件

送付先：誕生日ありがとう運動本部（障がい者福祉活動の啓発）

- ・プルタブの収集／47件

送付先：大田高校JRC部「プルタブを集め車イスに交換活動」

- ・ペットボトルのキャップの収集／28件

送付先：NPO法人エコキャップ推進協会（内閣府認証）に送付

◇民間助成事業に関する情報提供等

- ・民間助成ニュース速報（月2回）を関係機関へ周知
- ・助成金申請希望団体への申請に係る支援
- ・山陰中央新報社会福祉事業団「愛のともしび募金」助成事業申請事務
※大田市から7団体申請し、5団体が決定

(3) 災害時に備えた地域住民及び関係機関とのネットワーク体制の強化

◇災害ボランティア活動の推進

- ・新型コロナウイルス感染予防のため、被災地からの要請なし。

◇防災・減災推進事業

- ・島根県西部地震からの2年フォーラムの開催

実施日 令和2年10月24日（土）

会 場 大田市民会館大ホール

参加者 106名

◇しまね災害福祉広域支援ネットワークへの職員の登録及び派遣

- ・福祉専門職登録者数：5名（社会福祉士）

◇大田市ボランティアセンターにおいての被災者支援活動

平成30年4月9日に発生した大田市を震源とした島根県西部地震において被災された世帯への支援のため、ボランティアによる支援活動を継続実施した。

〈活動状況〉（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

相談件数 29件

- 活動件数 27件(延べ活動日数:24日)
- 延べ活動者 242名
- ◇被災地支援活動の推進(ひよりの会)
 - 島根県西部地震での被災をきっかけとした被災者支援活動として、古着物を活用した小物づくりを毎月1回ボランティア活動者が集う場を開設した。作製した小物は災害被災地へ送付する。
 - ・今年度の送付先 熊本県八代市地域支え合いセンター
 - ・発送数 162セット
- ◇医療用ガウン作成活動への協力
 - 島根県県央保健所より依頼のあった、新型コロナウイルス感染予防対策としての医療用簡易ガウンの作製について、ボランティア募集協力を行った。作製したガウンは大田市医師会へ贈呈した。
 - ・活動日 令和2年6月28日～7月30日の間の10日間
 - ・延べ活動ボランティア数 85名
 - ・作製枚数 1,500枚
- ◇子ども用マスクの寄贈募集
 - 新型コロナウイルス感染予防対策として、大田市子育て支援課より未使用マスクの寄贈について募集依頼があり、協力を行った。
 - ・募集期間 令和2年8月12日(水)～8月31日(月)
 - ・募集依頼先 各まちづくりセンター、各地区社会福祉協議会
 - ・寄贈枚数 617枚

推進目標4 福祉の心・人材の育成

(1) 住民主体の地域福祉活動推進に向けた意識啓発と担い手の育成

誰もが安心して暮らすことのできる地域づくりのために、住民一人ひとりが相互理解を図り、人と人とのつながりの大切さや地域生活課題と向き合い、自分にできることは何かを考えることをねらいとして地域及び学校での福祉教育の推進を図った。

<小学校>

- ・実施校数 2校(実施回数5回)
- ・対象者数 130名
- ・主な内容 障がいの理解及び体験学習、高齢者疑似体験学習

<中学校>

- ・実施校数 3校(実施回数20回)
- ・対象者数 859名
- ・主な内容 障がいの理解及び体験学習、高齢者疑似体験学習

<高校>

- ・実施校数 2校(実施回数3回)
- ・対象者数 141名
- ・主な内容 ボランティア活動について、ユニバーサルスポーツの体験会

◇ライフステージに応じた福祉教育の推進

- ・あいサポート運動（障がいについての理解と配慮）の推進として、障がいのある方への必要な配慮などの理解、ちょっとした手助けなどについて意識啓発を図った。

<受講者数> 16名

(2) 福祉に関する情報提供及び啓発の推進

◇福祉用具の貸出

- ・車いすの貸出し：高齢者や障がい者、怪我治療中の方に車いすを貸出した。また、行事や疑似体験等にも貸出しを行った。

貸出件数 7件（貸出し延べ台数9台）

◇点字・声の広報の発行

①音訳広報の発行

広報音訳グループ「ベルの会」に依頼し実施した。（1回あたり12人に配布）

<発行内容>

- ・広報おおだ 年12回（月1回）
- ・市議会だより 年4回（5月、7月、10月、1月）
- ・社協だより 年6回（4月、6月、8月、10月、12月、2月）
- ・身障の友大田 年2回（6月、3月）
- ・暮らしの情報、健康診断や不燃物収集等の年間予定表 年1回

②点字広報等の作成

点訳サークルたんぽぽに依頼し広報誌の点訳や個人からの文書等点訳の要望に対応した。

推進目標5 権利擁護の推進

(1) 権利擁護体制の充実

◇福祉サービス利用援助事業

<日常生活自立支援事業の推進>（県社協委託事業）

判断能力に不安を感じる方との契約に基づき、その人の意思決定を支える福祉サービス利用援助等を関係機関と連携し行った。

①支援計画作成

サービス内容／福祉サービス利用援助、日常的金銭管理、書類等の預かり、見守り等

②利用状況及び相談件数

- ・利用件数 91件

高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
24	25	38	4	91

※その他4件（高次脳機能障がい、アルコール依存）

※生活保護26件

※利用料一部免除1件

- ・新規利用件数 16件
- ・終了件数 21件

※終了理由（死亡9件、施設入所4件、自立1件、後見移行5件）
（自己破産免責決定2件）

- ・相談支援延件数 3,597件

高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
676	1,714	980	227	3,597

③生活支援員研修会（生活支援員：登録者42名）

- ・県社協主催 生活支援員研修会への参加

期 日 令和2年10月6日（火） 参加者：11名

場 所 いわみーる（浜田市）

内 容 事務局説明／日常生活自立支援事業の現状
講 義／障がい（症状）の特性を学ぶ

- ・本会主催 生活支援員研修会：新型コロナウイルス感染予防のため中止

◇法人後見事業

家庭裁判所からの依頼や市長申立て等で法人による後見等が必要な方の財産管理と身上監護等の後見業務を行った。

- ・法人後見運営委員会の開催

開催回数 2回（受任の適否審議／可2件）

- ・出雲成年後見センター定例会への参加

- ・被後見人等に対する成年後見制度に基づく支援（財産管理・身上監護）

受任件数 5件（男性4名、女性1名）※新規受任件数2件

類型	受任件数	区 分					
		高齢者		知的障がい者		精神障がい者	
		在宅	施設等	在宅	施設等	在宅	入院
補助	0	0	0	0	0	0	0
保佐	1	0	0	0	0	1	0
後見	4	0	1	0	0	0	3
合計	5	0	1	0	0	1	3

◇大田市成年後見支援センター事業

①大田市成年後見支援センター運営委員会の開催

開催日 第1回 令和2年 6月18日（木）

第2回 令和2年 8月25日（火）

第3回 令和2年10月23日（金）

第4回 令和3年 3月23日（火）

委嘱委員数 12名

②大田市市民後見人登録審査委員会

書面決議 議決日 令和2年4月27日（月） 委員7名

審査対象14名すべて承認によりバンク登録延べ52名となる

③市民後見人人材バンク交流会の開催

開催日 令和2年11月13日（金）

会場 大田市民センター4階

参加者 15名（バンク登録者12名、運営委員3名）

内容 新型コロナ感染防止対策下における訪問について等4事例

④市民後見人の推薦

推薦 11名（内選任9名）※累計市民後見人32名

⑤成年後見制度・私のおんしんノート出前講座の開催

開催回数 2回

延べ参加者数 84名

⑥大田市成年後見支援センター相談件数及び専門職候補紹介数

相談件数 13件

専門職候補紹介件数 6件

⑦出雲成年後見センターとの連携及び定例会への参加

事例検討会参加 4回

⑧関係機関との連携

（1）市民後見人の監督及び推薦時の面接立会

（2）家事関係機関との連絡協議会（ウェブ会議）へ参加

（3）中核機関に関する松江家庭裁判所とのヒアリング及び大田市地域包括支援センターとの協議

推進目標6 組織体制の強化

（1）広報活動の充実

◇社協だよりの発行（偶数月・年6回）

◇ホームページによる情報提供（市社協アドレス：www.ohda-shakyo.jp）

◇点字・声の広報の発行（再掲）

◇ケーブルテレビなどの広報媒体の活用

ケーブルテレビなどの広報媒体や大田市刊行物の配布を活用し、事業等の周知に努めた。

（2）事業推進体制の強化

◇理事会の開催

<第1回>

・期 日 令和2年6月10日（水）

・場 所 大田市民センター4階

・協議事項 (1) 令和元年度事業報告について

(2) 令和元年度収支決算について
監査報告

(3) 定款の一部改正について

- (4) 定款細則の一部改正について
- (5) 経理規程の一部改正について
- (6) 事務専決規程の一部改正について
- (7) 事務局規程の一部改正について
- (8) 規程管理規程の一部改正について
- (9) 大田市地域福祉推進支援機関実務者会議設置要綱の一部改正について
- (10) 定時評議員会の招集について
- (11) 評議員候補者の推薦について
- (12) 評議員選任・解任委員会の招集について

・報告事項

<第2回>

・期 日

令和2年12月8日（火）

・場 所

大田市民センター4階

・協議事項

- (1) 職員給与規程の一部改正について
- (2) 民生融金貸付金滞納金の不能欠損処分について

・人権研修

- (1) 人権啓発DVD視聴
- (2) 住民票の写し等第三者交付に係る本人通知制度について

<第3回>

・期 日

令和3年3月19日（金）

・場 所

大田市民センター4階

・協議事項

- (1) 令和2年度補正予算（第1号）（案）について
- (2) 事務局規程の一部改正について
- (3) 嘱託職員就業規則の一部改正について
- (4) 臨時職員就業規則の一部改正について
- (5) パートタイム職員就業規則の一部改正について
- (6) 職員給与規程の一部改正について
- (7) 基金管理規程の一部改正について
- (8) 災害復興支援基金管理規程の制定について
- (9) 職員旅費支給規程の一部改正について
- (10) 法人後見運営委員会設置要綱の一部改正について
- (11) 大田市地域福祉推進支援機関実務者会議設置要綱の一部改正について
- (12) 規程管理規程の一部改正について
- (13) 令和3年度事業計画（案）について
- (14) 令和3年度収支予算（案）について
- (15) 評議員会の招集について

・報告事項

- (1) 内規の制定について
- (2) 経理規程勘定科目の追加について

(3) 第3次大田市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定について

◇評議員会の開催

<第1回>

- ・期 日 令和2年6月24日(水)
- ・場 所 大田市民センター4階
- ・協議事項 (1) 令和元年度事業報告について
(2) 令和元年度収支決算について
監査報告
(3) 定款の一部改正について
- ・報告事項 (1) 定款細則の一部改正について
(2) 経理規程の一部改正について
(3) 事務専決規程の一部改正について
(4) 事務局規程の一部改正について
(5) 規程管理規程の一部改正について
(6) 大田市地域福祉推進支援機関実務者会議設置要綱の一部改正について
(7) 内規の一部改正について

<第2回>

- ・期 日 令和3年3月29日(月)
- ・場 所 大田市民センター4階
- ・協議事項 (1) 令和2年度補正予算(第1号)(案)について
(2) 令和3年度事業計画(案)について
(3) 令和3年度収支予算(案)について
- ・報告事項 (1) 事務局規程の一部改正について
(2) 嘱託職員就業規則の一部改正について
(3) 臨時職員就業規則の一部改正について
(4) パートタイム職員就業規則の一部改正について
(5) 職員給与規程の一部改正について
(6) 基金管理規程の一部改正について
(7) 災害復興支援基金管理規程の制定について
(8) 職員旅費支給規程の一部改正について
(9) 法人後見運営委員会設置要綱の一部改正について
(10) 大田市地域福祉推進支援機関実務者会議設置要綱の一部改正について
(11) 規程管理規程の一部改正について

◇監査会の開催

- ・監査対象期間 平成31年4月1日から令和2年3月31日
- ・期 日 令和2年5月22日(金)
- ・場 所 大田市社会福祉協議会 会議室

- ・内 容 令和元年度大田市社協事業及び会計監査
- ◇評議員選任・解任委員会
 - <第1回>
 - ・期 日 令和2年6月11日（木）
 - ・場 所 大田市社会福祉協議会 会議室
 - ・協議事項 (1)大田市社会福祉協議会評議員の選任について
- ◇苦情解決のための第三者委員への苦情、相談
 - ・件 数 0件
- ◇職員の専門性向上と資格取得促進
 - ・精神保健福祉士 1名資格取得

(3) 財源の確保

- ◇会員制度の周知と会員拡大

人口減少、世帯数減、自治会加入率の低下等の要因により、会費収入は微減。